

令和元年9月24日、文化教育常任委員会において、議案第103号について附帯決議が付されました。内容は以下のとおりです。

議案第103号 令和元年度川越市一般会計補正予算(第3号)の所管部分に関する附帯決議

南古谷小学校の屋外運動場用地取得に関する補正予算に対し、本委員会としてさまざまな角度から議論があり、用地の選定方法や他の代替手段の検討、児童の安全確保等に関して教育委員会の取り組みは不十分と言わざるを得ない状況が明らかになった。

よって、本補正予算については、当面、執行の停止を求めるとともに、用地選定の再検討ならびに、議会に対して十分な説明を求める。

右、決議する。

令和元年9月24日

川越市議会 文化教育常任委員会

委員会による現地視察



委員会における附帯決議とは、審査対象である議案を議決するに当たり、付随的に付ける意見または要望のことをいいます。附帯決議により、委員会の意思を表明しますが、法的な拘束力を有するものではありません。

本会議における

議案質疑

【質疑をした会派名】

今定例会では延べ31名の議員が質疑を行いました。

市が提出した議案の内容、提案の理由等について、疑問点や不明な点を明らかにするためにを行います。

こちらには、それぞれの議案に対する質疑の一部を要約し、掲載しています。

議案第57号

平成30年度一般会計歳入歳出決算認定

【自由民主党】【公明党】【無所属】【政晴会】

【政策フォーラム】【日本共産党】

円行財政改革の取り組み状況は。

平成30年度は、全庁的に事務事業の見直し、ラニングコストの縮減、補助金の整理合理化等の取り組みを行った。また、市税現年課税分の徴収強化に取り組み、収入率向上に努めた。今後とも、健全で持続可能な行財政運営に向け、経常的経費の縮減や財源確保などに取り組んでいきたい。

園保育所待機児童対策の取り組み状況は。

民間保育所の建設および改修等のための補助金6億9121万円を交付することで、保育所等の定員枠を383人拡充した。内訳としては、認可保育所の建設が3園、改修が1園、認定こども園の建設が2園である。また、保育課に保育コンシェルジュを配置し、利用者支援も実施している。

平成30年度を象徴する目玉事業は？

安心して子育てができる

環境づくりとして、児童発達支援センター整備、民間保育所等建設補助による待機児童対策、教育環境の整備・充実を目指した、小・中学校普通教室の空調設備整備の完了、活力と魅力あるまちづくりでは、笠幡駅前広場の完成、総合的な水害対策の実施、デマンド型交通の運行開始がある。

他の中核市と比較して各種財政指標を、どのように評価しているのか？

本市は、他の中核市と比較して財政力指数が高く、財政力があるといえる。しかし、財政構造の弾力性を測定する経常収支比率は硬直化が進み、財政調整基金の年度末残高も中核市平均より少なく、非常に厳しい財政状況であると評価している。

なる施設の整備が目的である。

図書館が市内小中学校の連携において、学校の要望に応えるために考えていることは何か。

児童生徒の調べ学習等に比べられるよう努めているが、テーマが重複する図書が不足が課題であり、教員と連携し解決したい。また、新小学校学習指導要領に対応できる図書の購入を考えている。

自治会集会所建設補助事業の目的について伺う。

地域の一体感の醸成や共通課題解決のため、子どもから高齢者まで幅広い地域住民の活動拠点とするのが子育てサポートにつながるかと考えるが、本市の男性職員の育児休業取得促進の取り組みは何か伺いたい。

男性職員が育児休業を取得しやすい環境を整えることが子育てサポートにつながるかと考えるが、本市の男性職員の育児休業取得促進の取り組みは何か伺いたい。

休暇等ハンドブックの配布、育児休業を取得し